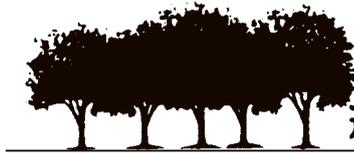


住みよい まちづくり通信



道町連 No. 89

●発行日 平成30年3月31日
 ●発行 一般社団法人 北海道町内会連合会
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地
 かでる2.7
 ☎(011)271-3178 FAX(011)271-3956
 E-mail : info@d-choren.or.jp

ホームページ検索



介護予防についてのお話



アロマセラピーによるハンドマッサージ



映画「この世界の片隅に」を鑑賞



得点を狙って打つスカットボール



リズムのってお手玉をまわす体操



フロアカーリングに挑戦!



歯の健康について学ぶ

おしゃべりサロン 気軽に参加できる高齢者サロン

清田区東真栄町内会

目次

清田区東真栄町内会の「おしゃべりサロン」 1
 ひとりの不幸もみのがさない住みよいまちづくり全道運動 ... 2
 災害に強いまちづくり全道運動 3
 北海道の単位町内会・自治会組織のすがた 4

管内町内会連絡協議会のすがた/
 札幌市が町内会加入促進条例を検討 5
 道町連共済のページ 6~7
 道町連からのお知らせ 8

平成29年度の報告 災害に強いまちづくり全道運動

北海道町内会連合会では、全国各地で度重なる台風や地震、豪雪、豪雨等による被災を教訓に、「災害に強いまちづくりをめざして」をテーマにした研修会への助成事業を通じて、災害時に住民が助け合える安心・安全な地域づくりを推進しています。

防災活動研修会支援助成事業

防災避難訓練等に取り組み100町内会に助成
本助成事業は、連合会や単位町内会が主催する「防災訓練」や「自主防災組織研修会」に対して2万円の助成をしています。

13年目の平成29年度は、47市区町村の100組織が実施する研修会に対して助成を実施しました。研修会の内容は、防災避難訓練、防災講座、自主防災組織づくり研修会、災害図上訓練(DIG)や避難所運営ゲーム(HUG)などが実施され、特に、住民による避難所運営と避難生活を体験する訓練の取り組みが増えています。

また、平成30年度の本助成事業については、所属する連合会を通じて4月下旬にご案内をいたします。

(研修会のメニュー)

- ・ 自主防災組織研修会や組織づくりのための会議
- ・ 防災講習会、炊き出し訓練、防災マップづくり
- ・ 災害図上訓練(DIG)、避難所運営ゲーム(HUG)
- ・ 応急手当研修会、救急手当研修会
- ・ 災害時要援護者世帯調査・マップづくり
- ・ 安心・安全関係者ネットワーク会議

平成29年度の事例

放課後教室で防災教育 防火・防災の先生役は町会のおじさん

根室市宝林町会

根室市宝林町会(316世帯)では、子どもたちが地域住民と交流を深めながら防災意識を高めるために、ゲームで楽しく防災を学ぶ放課後教室を開催しました。

ゲームは、赤・青・黄色の3チーム対抗で実施。はじめに、「あわてずさわがず避難準備」と題して、子どもが指定された非常持出品を探し出してリュックにつめ、リレーでつなぐ競争を行い、災害時の持出品を確認しました。

その後の「カルタで学ぼう火の用心」では、へ出かける時はストープ消してガス止めて、へるすばんの「子どもの火あそび 注意せよ」などが書かれた44枚の防火カルタを子どもたちが取り合いながら、火災の危険性を学びました。

最後に防火メッセージ入りのおやつをもらい、「楽しみながら防災のことを覚えられた」と子どもたちは大喜び。放課後教室は、住民との交流を深めながら防災を学べる良い機会となりました。



▲非常持出品を早く見つけて!



▲カルタを取って防火を学ぶ

安心・安全のための啓発パンフレット



応急・救命手当
ハンドブック
大切な人を
救うために



救急車到着までの適切な処置が大切な命を救います

突然の事故や家族の急病など救急車を呼びような現場に遭遇したとき、救急車が来るまでの間、そばに居合わせた人による適切な救命処置で多くの命を救うことができます。

119番

- 1 「119番」にダイヤル
- 2 火事ですか、救急ですかの問いに「救急です!」と第一声
- 3 「住所」「目印」を (マンションは名前・号楼・階数・号室も詳しく)
- 4 事故や傷病者の「様子」を説明 (いつどこで、だれが、どうして、どうなったかを詳しく)
- 5 通報者の「氏名」「電話番号」を
- 6 サイレン音接近。人手があれば救急車を「誘導」
- 7 救急車「到着」 (実施した応急手当、容態の変化、傷病者の持病などを報告)

※応急・救命手当ハンドブック(改訂版) 1ページより抜粋



A5判・17ページ
(平成25年9月発行)

本ハンドブックは、家族の急病や活動中の事故等で、その場に居合わせた方々が助け合って適切な手当てができるよう、応急手当と救急車到着までの救命処置をまとめました。在庫の範囲内で一部50円での頒布をお受けしています。

応急手当・健康ハンドブックを発行予定

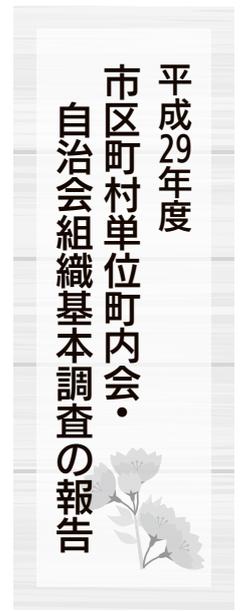
応急手当の内容に加え、介護予防や生活習慣病予防など、住民の健康づくりに役立つ内容を盛り込んだハンドブックを本年9月に発行する予定です。

道内の平均的な単位町内会のすがた

平均世帯数	144世帯
平均予算額	145万円
平均町内会費（月額・1世帯）	約500円
町内会長の平均年齢	69歳
町内会長の平均在職年数	7.3年
役員の前任期	2年
班長の平均任期	1年
部会・委員会の平均設置数	4.3部会
平均実施事業数	16.4事業

※全道の平均値であり、地域により異なります。

北海道町内会連合会では、道内の単位町内会の概要、運営状況、事業内容とともに、抱える課題等を明らかにし、これからの町内会活動の進展と近隣で支え合うまちづくりを推進するため、昨年9月～10月に単位町内会への調査を実施しました（5年に一度の実施）。今回の調査では、35市区町村の855の単位町内会に回答をいただきました。ここでは、調査の結果を抜粋してご紹介いたします。



町内会が現在抱えている課題

（複数回答可）

役員のなり手不足	76.8%
参加者の固定化と減少	50.8%
住民の関心の低さ	35.9%
活動内容の慣例化	34.2%
会員数の減少	31.5%
財源不足	14.2%
要援護者の実態がつかめない	6.5%
その他	16.0%

役員のなり手を確保するための対策

（自由記述）

1位	役員を輪番制にする
2位	候補者を推薦、説得する
3位	業務を見直して役員の負担軽減
4位	役員の人数を増やし各役員の負担軽減
4位	若手を役員として育成する
6位	日ごろから声かけをしてお誘いする
7位	各班から平等に選出する
8位	役員の再任を妨げない
8位	活動に気軽に参加してもらえる配慮
10位	役員の人数を減らして運営を維持する
10位	町内会活動への住民の意識を高める

町内会の実施事業ベスト10

	事業名	実施率
1位	赤い羽根共同募金運動への協力	74.5%
2位	回覧板による事業の周知	73.5%
3位	町内清掃の実施	72.9%
4位	新年会・忘年会	71.7%
5位	防犯・街路灯の設置、維持管理	59.9%
6位	ゴミステーションの管理	56.6%
7位	日赤社資募集運動への協力	55.3%
8位	葬儀の手伝い	51.1%
9位	お祭り	50.8%
10位	資源回収の実施	48.4%

今後の町内会で特に期待される役割

（2つまで回答可）

見守りなどの福祉活動	48.9%
親睦会などの交流活動	46.4%
避難訓練や自主防災組織などの防災活動	28.5%
行政等の地域関係団体との連絡調整	18.5%
ごみ拾い、花壇整備などの環境・衛生活動	16.3%
パトロール、防犯灯管理などの防犯活動	10.1%
地域の情報を発信する広報活動	8.0%
その他	2.2%

管内町内会連絡協議会のすがた

総合振興局・振興局管内を単位とした町内会連絡協議会は道内で8組織結成され、管内市町村間の連絡調整、交流、研修、各種運動の推進等がすすめられています。

管内町内会連絡協議会への助成

北海道町内会連合会では、管内町内会連絡協議会の活動に対して、管内市町村の連携と町内会活動の充実・強化を促進するために、次のような活動費の助成をして応援しています。

● 活動助成費 3万円

● 加入促進・共済啓発活動費 3万円

また、連絡協議会が未結成の管内に対して結成を呼びかけています。



▲オホーツク管内「研修会・交流会」



▲釧路管内「研修交流会」



▲上川管内「研修交流会」



▲渡島管内「研修会」

管内町内会連絡協議会の概要

平成30年3月31日現在

組織名	会長名	事務局	加入市区町村数 ／管内市町村数	H29年度 予算額	結成年
根室管内町内会 連絡協議会	長谷川敬二 (根室市)	根室市 町会連合会	5／5市町村	610千円	昭和58年
釧路管内町内会 連絡協議会	西村 毅 (釧路市)	釧路市 連合町内会	8／8市町村	250千円	平成2年
胆振管内町内会 連絡協議会	沼田 俊治 (室蘭市)	室蘭市 町内会連合会	10／11市町村	349千円	平成4年
渡島管内町内会 連絡協議会	堀田 市雄 (七飯町)	七飯町 町内会連合会	11／11市町村	126千円	平成4年
十勝地区町内会 連絡協議会	高宮 裕 (帯広市)	帯広市 町内会連合会	11／19市町村	195千円	平成4年
オホーツク管内町内会 自治会連絡協議会	船山 洋明 (紋別市)	紋別市 町内会連絡協議会	17／18市町村	1,006千円	平成10年
宗谷管内町内会 自治会連絡協議会	副会長 渡辺 光信 (豊富町)	稚内市 町内会連絡協議会	6／10市町村	214千円	平成11年
上川総合振興局管内 町内会自治会連絡協議会	中村 雅光 (名寄市)	名寄市 町内会連合会	9／23市町村	200千円	平成13年

TOPICS

札幌市が町内会加入促進 条例を検討

札幌市は、「人口減少、少子化、超高齢社会の問題解決には町内会の活動が重要」として、町内会加入促進や活性化に向けた条例案を平成30年度中に市議会に提出するため、「町内会に関する条例検討委員会」を開いています。

市内の単位町内会長に向けた事前アンケートでは、約8割の会長が条例制定に賛成で、新条例には、①町内会の役割や重要性、②地域住民の自発的な参加・協力、③町内会への加入促進などを盛り込むべきとの意見が多くありました。

また、左記のとおり、全国的に類似する条例は、横浜市やさいたま市、京都市などにおいて制定されています。検討委員会では、今後行われる条文づくりに関する意見公募やシンポジウムなどの結果も反映して、町内会の意義や重要性を示し、住民の自主的な町内会加入に結びつくような条例案の作成をめざしています。

参考：他市で制定された類似条例

- 横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例
(施策の基本方針) 第7条(2)抜粋
地域活動団体が行う当該団体への加入促進活動を支援するための施策を推進すること。
- さいたま市自治会等の振興を通じた地域社会の活性化の推進に関する条例
(市の責務) 第4条2抜粋
市は、地域住民が自治会等に自発的に加入し、又は自治会等を自主的に設立することを促進するために必要な支援を行わなければならない。
- 京都市地域コミュニティ活性化推進条例
(地域住民の役割) 第6条2抜粋
地域住民は、地域自治を担う住民組織に多くの地域住民が主体的に参加する状況となることを目指し、地域住民相互の交流及び協働についての役割を果たすものとする。

●平成29度は約12.4万名が加入

平成29年度の共済加入者は124,224名。
道内の116市区町村の3,846町内会より加入いただきました。

●平成29年度は98件の見舞金を支給

平成29年度の見舞金件数は98件、総額9,165,949円支給されました。

前年度に比べ、支給件数は2件増、支給総額は、約260万円増となりました。傷害見舞金の1件あたりの平均支給額は約3万8千円でした。

(内訳)

傷害見舞金	93件	2,865,949円
死亡見舞金B	1件	100,000円
後遺障害見舞金	2件	2,200,000円
死亡見舞金A	2件	4,000,000円

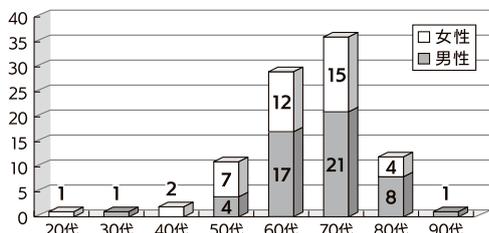
●平成29年度の事故の状況 (93件)

1. 性別・年齢別

—ケガが多かったのは60～70代—

性別・年齢別では、図1のとおり、前年度同様60～70代の方に事故が集中し、全体の男女比は、男性が52名、女性が41名で事故の割合は男性が多く占めています。

図1 性別・年齢別の状況

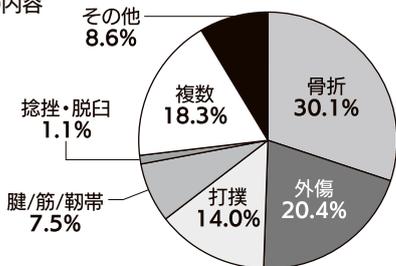


2. どんなケガが多いか

—最も多いのが転倒による骨折—

ケガの内容は図2のとおり、前年度同様、転倒による骨折が28件 (30.1%) ともっとも多くありました。

図2 ケガの内容



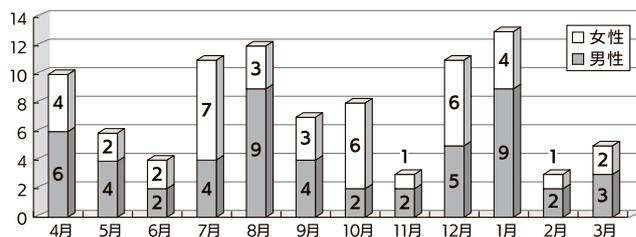
3. 事故の発生時期

—事故が多かったのは、7月・8月・12月・1月—

事故発生時期は、7・8月は、盆踊りやお祭り、12月はもちつき大会等、冬ならではの行事での事故が多く、

1月は、新年交礼会や除排雪等での事故が多く発生しました。

図3 事故の発生月

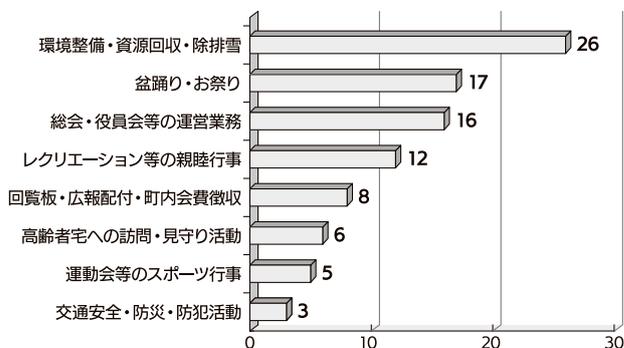


4. どのような活動中の事故が多かったか

—環境整備・資源回収・除排雪中の事故が多く発生—

環境整備・資源回収・除排雪中の事故が最も多く、続いて、お祭りや総会・役員会等の運営業務中での事故が多く発生しました。

図4 活動ごとの事故状況



新年度の共済加入のご案内

▶パンフレット「道町連共済」のご案内

道町連共済の内容を紹介したパンフレット「道町連共済のご案内」は、本会ホームページにPDFファイルで掲載しています。なお、簡易版 (A4版・2ページ・モノクロ) も掲載していますので、普及・啓発等にご活用ください。



(A4版・4ページ・カラー)

加入・請求手続きの説明冊子

▶「事務手続きの手引き改定保存版」

事務手続きを円滑にすすめていただくために、加入手続き、請求手続きの説明とともに、様式、規程を添付しています。本会ホームページにPDFファイルを掲載していますので、ご活用ください。



(A4版・40ページ)

町内会活動中のケガに
備えていますか？



道町連共済 に参加して もしもの事故に備えましょう！

- 町内会活動中のケガが全道で93件発生 ※平成29年度道町連共済傷害見舞金支給件数
- 27%の単位町内会が活動中のケガにまだ備えていません ※平成29年度道町連調査より
- 道町連共済は、ひとり年200円の会費で**最高200万円**のお見舞金を支給
- 加入者と同居するご家族が代理で活動中のケガもお見舞金の対象に

傷害見舞金

※支給上限は10万円です。

治療のために被害者が
実際に負担した医療費



医師の指示による
薬代・補装具代

支給例 傷害見舞金 97,982円

夏まつりの後片付け中に転倒し、右手を負傷。左橈骨遠位端骨折、左尺骨茎状突起骨折で6日間の入院、その後17日間通院をして治りました。

(内訳)

- ・入院分：45,906円
- ・通院分：41,270円
- ・薬代：1,310円
- ・補装具代：4,496円
- ・診断書料：5,000円



後遺障害見舞金

後遺障害の程度により
最高200万円の見舞金を支給します。

支給例 後遺障害見舞金 200万円
(200万×100%=200万円)

町内会の清掃活動中に、躓いて転倒。頭部を強打し、救急車で搬送され、神経系統の機能等に著しい障害を残したため、100%の後遺障害見舞金200万円が支給されました。



死亡見舞金A 200万円

死亡見舞金Aは、町内会活動中の外因・外傷の事故による死亡に対して支給します。事故発生日から180日以内に死亡の場合に限ります。

支給例 町内会の清掃活動を終え、帰宅途中で乗用車に衝突され、救急車で病院に搬送されましたが、脳挫傷等により、19日間後に死亡されました。

死亡見舞金B 10万円

死亡見舞金Bは、「死亡見舞金Aに該当しない活動中の死亡」に対して支給します。事故発生日後24時間以内に死亡された場合に限ります。

支給例 町内会の清掃活動の後片付け中に、体調不良を訴え帰宅。数時間後に、急性心臓死による死亡が確認されました。

＝道町連共済のお問い合わせ＝

一般社団法人 北海道町内会連合会事務局 TEL:011-271-3178

FAX:011-271-3956 Email: info@d-choren.or.jp

※ホームページに詳しい情報を掲載しています

道町連共済

検索



北海道町内会連合会創立40周年記念 平成30年度全道町内会活動研究大会のご案内

テーマ「共に生きる社会づくり～地域共生社会の実現へ～」

1. とき 平成30年5月29日(火) 13:30
2. ところ 札幌市 かでる2.7かでるホール
3. 参加費 2,000円
4. 内容

- ・表彰
創立40周年記念北海道町内会連合会
功労者特別表彰
平成30年度北海道町内会連合会表彰



- ・記念講演
テーマ「町内会による住みよいまちづくり」
講師 玉野 和志 氏
(首都大学東京人文科学研究科教授)

5. 交流会
大会終了後、17:45より交流会を行います。
・ところ ホテル札幌ガーデンパレス
・参加費 5,000円

平成30年度総会のご案内

上記大会の翌日、平成30年度総会を行います。

1. とき 平成30年5月30日(水) 9:30～
2. ところ 北海道第2水産ビル8階会議室
3. 議事

- (1) 報告事項
平成29年度事業報告
平成29年度収支決算報告
平成29年度監査報告
- (2) 議決事項
平成30年度事業計画(案)
平成30年度収支予算(案)
- (3) 選任事項
役員の大改選について

【お願い】
会長、副会長いずれも当日欠席の場合は、総会前に議案書を送付しますので、書面表決をお願いします。

平成30年度 町内会活動実践者研修会のご案内

シリーズ⑩ 町内会の安心・安全マップづくり

1. とき 平成30年8月7日(火)
2. ところ 北海道第2水産ビル8階会議室
3. 参加費 2,000円
4. 内容
 - ・実践報告
 - ・関係団体報告「民生委員児童委員と個人情報」
 - ・講義 「町内会の安心・安全マップづくり」
 - ・グループワーク
 - ・講評



全国自治会連合会・要望書提出 ～野田聖子総務大臣を表敬訪問しました～

去る平成29年12月13日に、北海道町内会連合会の長谷川敬二会長が、全国自治会連合会の副会長として、全国自治会連合会の鈴木光二会長とともに、野田聖子総務大臣を表敬訪問し、町内会活動への支援など、全国自治会連合会の加入団体から取りまとめた要望書を提出しました。



町内会ニュース ～町内会に役立つ情報をいち早くお届け～

本会で発行している「住みよいまちづくり FAX 通信」と「住みよいまちづくりメール通信」を平成30年4月から統合し、内容をより充実させた「町内会ニュース」を発行いたします。



- ・発行 年間12回程度、メールにて配信
- ・内容 市町村連合会や報道などで収集した道内町内会に関する最新ニュース、本会や関係団体からのお知らせなど、町内会に役立つ情報をいち早くお届けします。

※「住みよいまちづくりメール通信」が配信されている方には、4月以降「町内会ニュース」が配信されます(手続き不要です)。

※新たに配信をご希望される方は、本会ホームページの下記アドレスより登録いただけます。

<http://www.d-choren.or.jp/news.html>

おくやみ

永井 允 様 (平成30年1月14日ご逝去)

北海道町内会連合会副会長
稚内市町内会連絡協議会長

永井允様は、平成21年5月から本会理事、平成28年6月からは本会副会長に就任いただき、会の運営にご尽力をいただいております。

長年にわたる町内会活動へのご貢献に深く敬意を捧げ、慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

今後の会議等の予定

- 5月29日 全道町内会活動研究大会／札幌市
- 5月30日 北海道町内会連合会総会／札幌市
- 8月7日 町内会活動実践者研修会／札幌市
- 9月19～20日 道東ブロック町内会活動研究大会／根室市
- 10月4日 道北ブロック町内会活動研究大会／豊富町
- 10月17～18日 道南ブロック町内会活動研究大会／江差町
- 11月2日 道央ブロック町内会活動研究大会／札幌市白石区